

授業開講年度	2026	開講キャンパス	さくら夙川キャンパス
開講学期	春学期	開講曜日・時限	集中講義
科目コード	Z10223	授業コード	40559
レベルナンバー	200	配当年次	カリキュラムにより異なります。
授業科目名	地域社会学（オンデマンド型／水曜日配信）		
担当教員名【代表】	伊藤 康貴		
担当教員名			
授業形態	講義		
授業方法	メディア授業（オンデマンド）		
単位数	2.0		
ディプロマポイント評価観点（※本科目がどの項目に該当しているかを示す）			
Knowing			
(知識とリテラシー)	教養と専門知識【DP1】	知識・情報を活用する力【DP2】	
Doing			
(実践力)	国際感覚【DP3】	対人基礎力【DP4】	
	対自己基礎力【DP5】	対課題基礎力【DP6】	
Being			
(信念と志)	豊かな人間性と肯定的自己概念【DP7】	社会的責任【DP8】	
授業の目的	<p>「地域社会」と聞くと、どんなイメージを抱きますか？余りピンとこないかもしれませんが、日本社会における現代的な問題（都市化や郊外化、過疎化、少子化／高齢化、8050問題等）は、地域との関連において捉えなければ、その正確な理解や解決に向けた取り組みもおぼつかなくなります。ゆえに本講義では、地域社会の様々な理論枠組みや事例を学び、地域について主体的に考え、活動するために必要な想像（創造）力を涵養します。</p>		
到達目標	<p>学生は、地域社会の変容を、近代化とグローバル化とのかわり方で把握できる。  学生は、地域社会における現状および諸問題を具体的かつ社会構造的に把握できる。  学生は、今後の地域においていかなる貢献ができるのかを考え、実行できる。  学生は、地域社会における様々な活動事例を学び、これからの地域の担い手としての諸活動や新しいアイデアを創造することができる。</p>		
授業概要	<p>本講義はオンデマンド（非リアルタイム）で実施します。el-Campusにて配信される授業連絡は必ず確認してください。  本講義では、今後の地域社会のあり方について、社会学の議論を中心に考えます。授業計画のうち前半では、グローバル化や都市化、郊外化、モータリゼーションなど、おもに地域社会における社会構造の変容に注目します。続く後半では、地域社会の変容によって生じる諸問題に対処しようとする市民活動・社会運動などを事例に、地域において当事者として主体的に活動することの意義について考えます。</p>		
課題レポート等	各授業回において小レポート・課題を課す。また、授業で扱った地域社会の事柄を中心に、各自で興味関心をいだいた地域問題について調べ、自らの考えを深めるレポートを課す。		
フィードバックの方法について	オンデマンド授業やel-campusを通じてフィードバックを行う。		
授業時間外学習	毎回の授業前後に、授業資料や紹介された関連文献を読んだり、提示された課題に取り組むこと。また、新聞やインターネットニュースで配信されている地域社会に関する記事を読んでおくことが望ましい。		
授業回数	主題	概要	授業時間外学習(学習内容・時間)
01	ガイダンス	オリエンテーションと授業のねらい、オンデマンド受講の仕方、および社会的／社会学的に社会を考えるためのガイダンスを行う	予習：「地域社会」に関する新聞記事等を読む（120分） 復習：授業資料を読み、「地域社会」とは何かを自分なりにまとめる（120分）
02	地域の中で主体として考える	生活の中から問題点を見つけ出す	予習：地域社会で自分が気になるテーマ（社会問題等）を調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、自分が地域社会でいかに活動できるかを想像する（120分）
03	地域をめぐる近代化とグローバル化	グローバルとローカルの視点からリスク社会を考える	予習：地域社会でのグローバル化事例について新聞記事等で調べてみる（120分）

			復習：授業資料を読み、グローバル化と自分や地域との関わりをまとめる（120分）
04	都市と地域の社会学その1	シカゴ学派の都市社会学の成果について解説する	予習：シカゴがどのような都市か調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、シカゴ学派がもたらした成果を理解する（120分）
05	都市と地域の社会学その2	日本における近代化の過程と郊外の成立過程を把握する	予習：自分の出身地域の郊外について調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、郊外のライフスタイルについて自分なりにまとめる（120分）
06	都市と地域の社会学その3	地方におけるモータリゼーションの進展から地域社会を捉える	予習：自動車と自分との関わり方を考えておく（120分） 復習：授業資料を読み、モータリゼーションの地域社会への影響をまとめる（120分）
07	イエとムラ、都市と農村	イエとムラ、都市と農村の枠組みから日本における地域社会を捉える	予習：かつての村落社会と現在の自分が住む地域社会との違いを調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、地域社会を考えるための理論的枠組みを理解する（120分）
08	地域コミュニティの変容	地域社会の変容から今後のコミュニティのあり方について考える	予習：自分と他世代（祖父母世代など）の地域社会や人間関係のあり方の違いを調べる（120分） 復習：授業資料を読み、今後の地域社会や人間関係のあり方を想像する（120分）
09	地域におけるコミュニティ活動その1	日本における地域社会の基本的な集団である町内会・自治会の活動について解説する	予習：自分が住む地域の町内会（自治会）の活動内容について調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、今後の地域におけるコミュニティ活動を考える（120分）
10	地域におけるコミュニティ活動その2	地域におけるさまざまなコミュニティ活動を取り上げる	予習：自分が関心のある地域における社会問題を調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、社会問題や市民活動・社会運動等のあり方を考える（120分）
11	観光と地域社会	観光と地域社会とのかかわりを通じて、今後の観光のあり方を考える	予習：観光が地域社会にもたらす影響について調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、新しい・持続可能な観光のあり方を考える（120分）
12	地域文化とメディア	メディア論の議論を参考に、地域発信と文化変容について考える	予習：自分が関心のある地域における伝統文化を調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、地域文化がいかに創造されたかを理解する（120分）
13	地域社会における貧困	ホームレスや在日外国人の現状と地域での支援活動を考える	予習：ホームレスや在日外国人に関する支援活動について調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、格差・不平等の現状や多様性のあり方を考える（120分）
14	地域福祉と社会資源	ボランティアやNPO、社会的企業の活動を通して、社会的排除や社会的包摂について理解する	予習：「社会的企業」とは何か調べておく（120分） 復習：授業資料を読み、地域社会における社会的排除と包摂の力学を理解し、自分のできる活動（ボランティアなど）について考える（120分）
15	講義の総括	ひきこもり・8050問題の事例について学び、講義全体の総括を行う	予習：これまで配布された資料や紹介された文献を改めて読んでおく（120分） 復習：自らが作成した授業ノートなどを確認し、これからの望ましい地域社会のあり方を構想する（120分）
成績評価の基準と方法		授業中課題・小レポート（50%）、期末レポート（50%）を総合して100点満点で評価する。90～100点はA評価、80～89点はB評価、70～79点はC評価、60～69点はD評価、59点以下はF評価となる。	

	<p>※課題の提出の遅れは減点対象となる。</p> <p>※課題の提出の遅れが目立つ場合は不可となることもある。</p>
教科書	なし。オンデマンド教材を配信する。
参考図書	授業中に適宜紹介する。
授業に関する質問等の方法	初回授業で担当教員に確認をしてください。
備考	<p>1) el-campusによって、講義の進め方、オンデマンド受講の仕方、評価方法、その他授業の連絡を行うので、el-campusのお知らせや授業資料は必ず確認すること。</p> <p>2) 動画配信は、el-campusと連携したMicrosoftストリームにて行う。動画の閲覧のために便宜的にMicrosoft Teamsを立ち上げる。TeamsのメンバーになることでMicrosoftストリームにて動画閲覧が可能となる。Teamsの参加の仕方や招待コード等は上記1)の方法にて配信するので、必ず確認すること。</p> <p>3) 上記Teamsは大手前大学の学生のみが登録できる仕様のため、単位互換で受講する他大学の学生に対しては、別途個別に対応する。</p> <p>4) 受講生の理解度に応じて授業計画から進度や順序が変更される可能性があります。</p>
短大同時開講使用欄	